



音市場 世話人

宮嶋 正彦

MIYAJIMA MASAHIKO

1960年 柏崎市出身
2007年 第1回柏崎音市場開催

本町通りを中心とした柏崎市内14の会場でロック、フォーク、ラテン、ジャズ、クラシック、邦楽、ダンスなど、さまざまなアーティストによる演奏やパフォーマンスが繰り広げられる、柏崎の街中音楽イベント「音市場 vol.15」が3年ぶりに開催される。

音市場の始まりは15年前、中越沖地震からわずか5か月後というスピードで、柏崎初の音楽イベントが開催された。地震の被害も癒えぬ街へ市内外から多くの人々が訪れた。壊れたままの道路、被害の爪痕が残る商店街のそこかしこに音楽が流れ、人々の笑顔が疲弊しきっていた柏崎の町を優しく包み込んでくれた。

この音楽イベントを立ち上げ、後に「こんな形のボランティアもあると気付かされた」と話して、これまで音市場をけん引し続けてきた世話人の石川真理子さんが今年5月に他界。4月の全体会議で「今年はやりましょう」と決めた彼女の意思を引き継ぎ、メンバーの世話人たちは今、それぞれ手分けをしながら音市場開催に向けて準備を進めている。

世話人の一人で、音市場の立ち上げ当初から関わってきた宮嶋正彦さんは、市内

半田で総合建設業を営む一級建築士。宮嶋木材の2代目として生まれた宮嶋さんは、父と共に山で木の伐採、山からの材木運搬や製材も経験した。子供の頃から父の仕事を見て育った宮嶋さんはいつしか建築士を目指すようになり、自分で設計した家を、その木材を使って建てるというのが今も大きな仕事の一つになっている。

一方で、宮嶋さんというと柏崎の音楽イベントには欠かせない存在だ。ライブでは音楽のジャンルを問わず、パーカッションを自在に操り、さまざまなアーティストやバンドとセッションを行い、音市場でも知らない人はいないほどの存在感。実は、高校・大学時代に音楽の世界に足を踏み入れ、友人とバンドを組んで全国規模のコンテストで入賞。一時はプロになるかどうか迷ったこともあったというエピソードを聞くと交友関係の広さにも納得がいく。石川さんとは「ジャズライブを聴く会」で知り合い、市内の創作太鼓グループ・日本海太鼓で共に多くの活動を行ってきた。30年以上の親交があったという。

これまでと同じような音市場が出来るかどうか不安はある。でも皆で引き継いでいくと宣言したからね、と宮嶋さんは笑顔を見せ、前を向いた。



かしわざき

音市場 Vol.15

2022

9.17 前夜祭

ピストロクーマカツ
他 全5会場

9.18 まちなか14会場 11:00-START

全会場フリーパス券 1,500円

(当日500円UP・中学生以下無料)

主催：かしわざき音楽商店街 世話人：石川真理子